

<東海北陸> 近畿大学工業高等専門学校（私立）

*****断り*****

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

近畿大学工業高等専門学校 HP : <https://www.ktc.ac.jp/>

学校案内パンフレット :

https://www.ktc.ac.jp/dept/koho/publish/images/2020/panh/2020_kindaikosen_panh.pdf
[?1](#)

リーフレット :

https://www.ktc.ac.jp/dept/koho/publish/images/2020/leaf/2020_kindaikosen_leaf.pdf

*アクセス(図1は近代高専 HP より引用)

〒518-0459 三重県名張市春日丘7番町1番地



図1 アクセスマップ

*特色(一部文章は近大高専 HP より引用)

- ・本高専は、学校法人近畿大学の併設校として昭和37年4月、熊野市に熊野高等専門学校として開校し、平成12年近畿大学工業高等専門学校と改名、平成23年4月名張市に移転、平成24年に創立50周年を迎え、現在に至る

- ・平成17年度より1工学科・コース制に改組し、共通科目を1、2年次で十分に履修後、3年進級時に専門コース（機械、電気電子、情報、都市環境）を選択
- ・同年度に専攻科「生産システム工学専攻」を開設、本科4、5年次と合わせた4年間の技術教育プログラム「もの創り工学」は、平成19年度JABEE（日本技術者教育認定機構）によって国際的な基準を満足しているとの認定を取得している

*教育目標・教育理念(一部文章は近大高専HPより引用)

近畿大学学園の教育の目的

教育の目的は

- ・人に愛される人
- ・信頼される人
- ・尊敬される人

を育成することにある。

工業高等専門学校教育の目的

本校は、「人に愛され、信頼され、尊敬される、新時代を担う技術者を育成することにある」を教育の目的とする。

育成する技術者像

準学士課程

社会に貢献するための広い視野からもの創りを考え、それぞれの専門分野の知識と工学的素養をもって、考えたものを実現していく創造力あふれる実践的技術者

専攻科課程

社会の技術発展に貢献するための広い視野からもの創りを考え、それぞれの専門分野の高度な知識と幅広い工学的素養をもって、考えたものを実現していく開発型技術者

学習・教育目標

- (A) 工学の基礎となる学力や技術を身につける。
- (B) 実践的なデザイン能力を身につける。
- (C) 技術者としての健全な価値観や倫理観を養う。
- (D) 幅広い教養に基づく豊かな人間性の養成
- (E) コミュニケーション能力の養成

卒業（修了）時に身に付けるべき学力や資質・能力

準学士課程

総合システム工学科

- (A-G1) 数学、物理などの工学基礎科目における基礎学力を身につけること。
- (A-G2) 実験データの集計や報告書作成にコンピュータが活用できること。
- (B-G1) 専門分野の基礎知識を修得するとともに、関連する他の分野の基礎知識を修得すること。
- (B-G2) 実践的な問題に対し、修得した専門分野の知識を問題解決に応用できること。
- (B-G3) 構想したものを具体的な形に表現する CAD ソフトウェアが活用できること。
- (C-G1) 自国および世界の文化や価値観を理解し、自然との調和を考慮した視点からものごとを考えることができること。
- (C-G2) 社会人としての健全な人格を有し、技術者に要求される倫理観を身につけること。
- (D-G1) 人文科学、社会科学、自然科学の分野の基礎学力を身につけること。
- (D-G2) 課外活動、特別活動、学校行事などへ参加することで豊かな人間性を身につけること。
- (E-G1) 得られた結果を日本語でまとめ、プレゼンテーションができること。
- (E-G2) 英語の基礎知識を修得し、英語の読解、記述、簡単な会話ができる能力を身につけること。

専攻科課程

生産システム工学専攻

- (A-1) 数学、物理などの工学の基礎となる学力を身につけること。
- (A-2) 情報リテラシーを習得し、情報を収集、分析し活用できること。
- (B-1) 専門分野の基礎知識をベースに、より深い専門知識を修得するとともに、関連する他の専門分野の基礎知識を修得すること。
- (B-2) 実践的な問題に対し、習得した知識を活用して、解決に向けて計画を立案し、継続的にそれらを実行できること。
- (B-3) コンピュータを活用して自らの創造性を具現化するデザイン能力を身につけること。
- (B-4) 諸問題に対して、専門分野の枠を超えてチームで解決策を計画・実行し、問題を解決できること。
- (C-1) 最新の技術や物事に対する探求心を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につけること。
- (C-2) 自然と生命の尊厳を正しく理解し、併せて互いの人権を重んじ、共生の理念を育むこと。
- (C-3) 知的財産権などの基礎知識を理解し、社会的ニーズへの即応できること。
- (D-1) 人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い教養を身につけること。
- (D-2) 身近な問題から地球規模の問題まで関心を持ち、物事を考えられること。
- (E-1) 日本語で論理的に記述、発表、討議できること。

(E-2) 外国語によってコミュニケーションがとれる基礎能力を身につけること。

*4つのポリシー(一部文章は近大高専 HP より引用)

本科

アドミッションポリシー (入学者受入れの方針)

本校は、人格教育と実社会に役立つ教養と専門的知識の育成に努め、創造力あふれる技術者の養成を目指している。

この目標を達成するために、次のような人の入学を期待する。

1. 人々のくらしや環境に関心のある人。
2. ものづくりや実験が好きな人。
3. 部活動、ボランティア活動、寮生活などを通して仲間づくりをしたい人。

カリキュラムポリシー (教育課程の編成方針)

本校は、近畿大学の建学の精神「未来志向の実学教育と人格の陶冶」と教育理念「人に愛され、信頼され、尊敬される人の育成」に加え、本校独自に設けた学習・教育目標を達成するため、専門コースごとに特徴あるカリキュラムを提供する。

1. 時代と社会のニーズに応えるゆとりある技術教育と人格教育を提供する。
2. 専門分野（機械・電気電子・情報・都市環境）を選択する前に、工学の基礎となる共通学力を身に付ける工学基礎教育課程（1～2年次）を設け、専門工学分野へのスムーズな導入を図る。
3. 習熟度別クラス分け授業や少人数クラス授業を取入れるなど、学生の個性を生かしたきめ細かい授業を提供する。
4. 実験・実習を数多く開設し、難しい工学技術も易しく学べる授業を提供する。
5. 卒業研究、民産官学連携、インターンシップ、公開講座、ロボット創造工学など、創造性を養う実学教育の充実を図る。
6. グローバル社会で活躍できる人材養成のため、実践的英語科目や第二外国語科目（中国語・独語）の開設、交換留学や海外カレッジとの相互交流など、生きた語学修得の場を豊富に提供する。
7. 各種資格取得講座、特別進学講座、インターンシップなど、卒業後の進路決定を支援するプログラムを展開する。
8. 専門分野（機械・電気電子・情報・都市環境）を選択する前に、工学の基礎となる共通学力を身に付ける工学基礎教育課程（1～2年次）を設け、専門工学分野へのスムーズな導入を図る。
9. 近畿大学をはじめ、国立大学やその他の有名私立大学との単位互換制度の充実を図り、卒業生のスムーズな大学編入学の実現に努める。

ディプロマポリシー（卒業認定・称号授与に関する方針）

本校は、近畿大学の「建学の精神」と「教育理念」に則り、「社会に貢献するための広い視野からもの創りを考え、それぞれの専門分野の知識と工学的素養をもって、考えたものを実現していく創造力あふれる技術者」の育成に努める。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、準学士の称号を授与する。

卒業までに身に付けるべき資質を以下に示す。

1. 工業高等専門学校での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」、新時代を担う人間性豊かな技術者へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること。
2. 工学の基礎となる学力や技術を有し、実践的なデザイン能力を身に付けていること。
3. 技術者としての健全な価値観や倫理観を有し、社会の発展に貢献できる判断力と協調性を身に付けていること。
4. 自分の考えをはっきりと主張できるコミュニケーション能力を有していること。

専攻科

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

専攻科「生産システム工学専攻」では社会の技術発展に貢献するための広い視野からもの創りを考え、それぞれの専門分野の高度な知識と幅広い工学的素養をもって、考えたものを実現していく開発型技術者の育成をめざしている。この目標を達成するために、専攻科では次のような人の入学を期待する。

1. 新しい技術の修得や学理の探求を進めたい人。
2. 工学の基礎的学力を有し、ものづくりに意欲をもって取り組める人。
3. 専門性の高い仕事に就き、専門的技術者として社会で活躍したい人。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

開講科目は、一般科目、関連科目（専門基礎科目）、および共通専門科目と専攻区分別専門科目（機械工学・電気電子工学・土木工学）の4つに大別できる。一般科目は、語学や人文・社会科学に関連した科目からなる。コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を養成するとともに、社会人としての健全な価値観と豊かな教養を持ち国際的に活躍できる能力を身につけさせる。関連科目は、数学や物理・化学及びインターンシップからなる。専門科目の本質を理解するための工学基礎知識を修得させる。共通専門科目は、機械工学・電気電子工学・土木工学の各専攻区分に横断的な専門科目、および生産システム工学特別研究からなる。講義では、複合的・融合的な専門分野について対応できるような応用知識を習得する。特別研究では、実践的な問題に対し自発的に考え、解決に向けて計画を立案し、継続的にそれらを実行することで、当該分野の先端的な研究開発能力を養

成する。専攻区分専門科目は、本科および専攻科関連科目・共通専門科目で修得した専門分野の基礎知識をベースに、より深い専門知識を与える講義科目、および実験と実習からなる。当該専門分野の先端技術に即応できる能力を育成する。履修方法について、一般科目では全て必修であり 10 単位を履修する。関連科目では、選択科目から 8 単位以上履修する。共通専門科目では、生産システム工学特別研究Ⅰ，Ⅱ 12 単位は必修とする。専門区分別の専門科目では、工学実験 2 単位と工学演習 2 単位は必修とする。その他の共通専門科目と専門区分別の専門科目については、全て選択科目とし、合わせて 28 単位以上履修する。自分が選択した専門区分以外の専門科目を履修した場合は、関連科目として単位を認める。

ディプロマポリシー（卒業認定・称号授与に関する方針）

専攻科は、近畿大学の「建学の精神」と「教育理念」に則り、「社会の技術発展に貢献するための広い視野からもの創りを考え、それぞれの専門分野の高度な知識と幅広い工学的素養をもって、考えたものを実現していく開発型技術者」の育成に努める。終了時に身に付けるべき学力や資質・能力は以下の通りである。

- A. 工学の基礎となる学力や技術を身につける。
 - 数学、物理などの工学の基礎となる学力を身につけること。
 - 情報リテラシーを習得し、情報を収集、分析し活用できること。
- B. 実践的なデザイン能力を身につける。
 - 専門分野の基礎知識をベースに、より深い専門知識を修得するとともに、関連する他の専門分野の基礎知識を修得すること。
 - 実践的な問題に対し、習得した知識を活用して、解決に向けて計画を立案し、継続的にそれらを実行できること。
 - コンピュータを活用して自らの創造性を具現化するデザイン能力を身につけること。
 - 諸問題に対して、専門分野の枠を超えてチームで解決策を計画・実行し、問題を解決できること。
- C. 技術者としての健全な価値観や倫理観を養う。
 - 最新の技術や物事に対する探究心を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につけること。
 - 自然と生命の尊厳を正しく理解し、併せて互いの人権を重んじ、共生の理念を育むこと。
 - 知的財産権などの基礎知識を理解し、社会的ニーズへの即応できること。
- D. 幅広い教養に基づく豊かな人間性の養成。
 - 人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い教養を身につけること。
 - 身近な問題から地球規模の問題まで関心を持ち、物事を考えられること。
- E. 幅広い教養に基づく豊かな人間性の養成。
 - 日本語で理論的に記述、発表、討議ができること。

- 外国語によってコミュニケーションがとれる基礎能力を身につけること。

アセスメントポリシー（学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、達成すべき質的水準及び具体的実施方法などについて定めた学内の方針）

1. 評価の目的

ディプロマポリシーに挙げた「卒業までに身に付けるべき資質」を、学生が卒業時にどの程度有しているかを評価し、教育の質保証や卒業生の質保証に繋げることを目的とする。

2. 達成すべき質的水準

学習・教育到達目標やディプロマポリシーに挙げた

1. 工学の基礎となる学力や技術
2. 実践的なデザイン能力
3. 技術者としての健全な価値観や倫理観
4. 幅広い教養に基づく豊かな人間性
5. コミュニケーション能力
6. 自己教育力

について評価基準を作成し、卒業時に到達度を確認する。

3. 評価の具体的実施方法

教学マネジメント体制のもと、教務部が中心となって具体的な評価を実施する。

1. 学生個人の評価

1. 卒業研究への取組み状況、卒業論文、研究発表の評価
2. 単位取得状況と GPA による評価
3. 資格・免許の取得状況
4. 学内外における諸活動の成果等
5. 学修評価アンケート

を踏まえ、総合的に評価を行う。

2. 教育プロセスの評価

学生の進路（就職・進学）実績、卒業・進級判定、GPA の実態把握、資格取得実績、および卒業時のアンケート、卒業後のアンケート、進路先アンケート、授業アンケートなど各種アンケートを踏まえ、学校全体・専門コース・共通教育科・各科目レベルでの学修成果達成状況进行评估する。

*入試形態(URL は近大高専 HP より引用)

[本科入試要項](#)

[令和 3 年度 編入学試験要項](#)

[留学生編入学試験要項](#)

令和3年度 専攻科入学試験要項

*試験状況及び偏差値や倍率(表は近大高専 HP より引用)

偏差値

総合システム工学科特別進学コース **56**

総合システム工学科一般コース **47**

表 1 令和2年度 入学者数

	学科・コース・専攻	入学者数
本科 第1学年	総合システム工学科	169
本科 第4学年 編入学	機械システムコース	6
	電気電子コース	3
	制御情報コース	5
	都市環境コース	3
	計	17
専攻科	生産システム工学専攻	9

*卒業後の進路状況(URL は近大高専 HP より引用)

[進路情報\(令和2年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成31年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成30年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成29年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成28年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成27年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成26年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成25年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成24年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成23年4月入社・編入学等\)](#)

[進路情報\(平成22年4月入社・編入学等\)](#)

専攻科の進学

最近（5年間）の主な進学先（H26年3月卒～H30年3月卒）

- ・和歌山大学大学院
- ・近畿大学大学院

専攻科の就職

最近（5年間）の主な就職先（H26年3月卒～H30年3月卒）

- ・チームラボ(株)
- ・青木あすなろ建設(株)
- ・旭化成(株)
- ・アマゾンジャパン合同会社
- ・出光興産(株)
- ・大阪ガス(株)
- ・花王(株)
- ・関西エアポートテクニカルサービス(株)
- ・関西電力(株)
- ・キヤノン(株)
- ・京セラ(株)
- ・近畿日本鉄道(株)
- ・(株)熊谷組
- ・(株)鴻池組
- ・コクヨ(株)
- ・独立行政法人国立印刷局
- ・コマツ(株)小松製作所
- ・サントリーグループ
- ・(株)JALエンジニアリング
- ・ダイキン工業(株)
- ・ダイハツ工業(株)
- ・DMG 森精機(株)
- ・東海旅客鉄道(株)
- ・西日本旅客鉄道(株)
- ・富士通(株)
- ・本田技研工業(株)
- ・(株)村田製作所
- ・(株)LIXIL
- ・大阪市役所
- ・名張市役所
- ・三重県警察本部